

神戸大学と

Across the Boundaries

神戸大学のメタモルフォーゼを伝えるメディア

No.11

わたし

「大学と社会の結び目」ゲーム音楽作曲家の仕事とは？
フリーランス作曲家・
谷岡久美さんに聞く
「ききん・だより」募金状況・事業展開報告、ほか

メディアを超えたコラボレーションで、
子供たちの心に優しい音楽を届けたい。



【神戸大学基金を大きく育てよう】

●クラブ活動<いま・むかし>

創部110周年を迎えた「神戸大学漕艇部」

漕艇部OB会「神漕会」会長・大原八十八さん

●基金の実施例紹介

神戸大学「東京オフィス／キャリアセンター東京分室」の運営支援

メディアを超えたコラボレーションで、子供たちの心に優しい音楽を届けたい。



●ファイナルファンタジーⅦ オリジナル・サウンドトラック (スクウェア・エニックス提供)

子供のころ、ピアノを習った。小学生のころ、ゲームの世界に美しい映像と心に残る音楽を発見した。そして、ゲーム音楽作曲家の道を歩き始めた。そうして、様々な職種の人が集まってゲームが作られていることを知った。いま、いろんな表現手法を駆使して、優しい音楽を子供たちの心に届けたいと願う。

●開けた「ゲーム音楽作曲家」への道

谷岡さんは学生のころから音楽を作る仕事に携わりたいと思っていた。しかし、当時は「就職氷河期」と呼ばれる困難な状況。ましてや音楽業界はかなりの狭き門だった。

「このころ『ゲーム業界就職読本』という本を本屋さんで見つけて、その中に載っていたゲーム会社の中から関西を中心に10社近く受験しました」

最終的に京都のゲーム会社に就職することができて、その会社でサウンド担当として働き始めた。

ところが、就職して一年が経とうというころ、幸運なことに、ずっと憧れていたゲーム会社・スクウェアへの入社のチャンスが訪れた。「すんなりというわけではありませんでしたが、最終的に入社させてもらえました」と、谷岡さんは自分の運の良さを振り返る。

●「実力テスト」も無事合格

「もともと一番入りたかった会社だったので、サウンド部門は新卒を一切採用していませんでした」

募集してないのだから採用試験は受けることができなかった。その会社に「運命のいた

ずら」で就職できてしまったのである。なんとこの幸運だ。

ところが、ちよつとした手違いから、デモテープなども聴いてもらえないまま配属されていたことが発覚。

「もしかして採用も手違いだったのか……」と不安がよぎったが、しかし、幸運はまだ続いていた。

「そのときまたまた体調を崩された方がいて、その方がやっていた仕事を代わりに担当させてもらうことになりました」

●「チョコボの不思議なダンジョン2」

そのとき担当したゲームのタイトルは「チョコボの不思議なダンジョン2」。初めて作った曲は、ゲームの中の最初のダンジョンで流れる曲だった。

「ああ、私はいま試されているんだという感じで、かなり緊張していたことを覚えてます」

試験はいつも緊張するものだ。しかし、このゲームには前作「チョコボの不思議なダンジョン」があり、それは学生時代から知っていた。

「なので、こういう雰囲気で作るといいのかもしれないという想像はできた」と言う。



さらにゲームの世界観や資料も踏まえて曲を作った。

結果、「ちゃんと仕事ができるという評価」をもらったようだ、と谷岡さんは笑う。楽曲はゲーム制作スタッフにも気に入ってもらえ、その後は普通に仕事を任されるようになった。

「チョコボの不思議なダンジョン2」は、サウンド担当の一人として、谷岡さんがスクウェアで最初に手がけた音楽だが、後にサウンドトラックがCD化されるなど、ゲーム音楽クリエーターとして世に知られるきっかけになった。

●時代がもたらした音楽との接点

子どもの頃は4歳ごろから「ヤマハ音楽教室」に通ってピアノを練習していた。

「小学生の間は作曲の勉強もしていました。鳴かず飛ばすで6年間でやめちゃいました」(笑)

これが谷岡さんと音楽との最初の出会いだ。さらにもうひとつ、ゲーム音楽との出会いもある。

「なにしろ弟がゲーム好きでテレビを上手に持てましたから、家にいるときは弟がやるゲーム

谷岡久美 (たにおか・くみ)

神戸大学発達科学部の第1期生として1993年入学。人間行動表現学科「音楽表現論コース」(当時)専攻。1997年卒業。京都のゲーム制作会社を経て、1998年、株式会社スクウェア(現スクウェア・エニックス)に入社。サウンド部門でゲーム音楽の作曲に携わる。チョコボの不思議なダンジョン2「ファイナルファンタジーⅦ」などゲーム愛好家の心に届く曲を数多く作曲した。2010年からフリーランスに。



を後からずっと見ているという具合でした」
ゲームものにさほど興味があつたわけではない。ドラマや漫画と同じように映像として見ていたのである。

「ゲームの内容は覚えていなくても、弟がレベアアップのために長時間滞在したダンジョンの曲とか劇的な展開を見せる場面とか、音楽だけは覚えているというのがたくさんありました」

高校のときは、文化祭で教室に洞窟を作つてゲームの音楽を流した。使つた楽曲はすべて「ファイナルファンタジー」。自分でラジカセに録音したものを鳴らした。所属していた放送部でもゲーム音楽を流したりしたことがある。そういうわけで、「もともとゲーム音楽には相当興味があつたんだな」と振り返る。

実は卒論も「ゲーム音楽の歴史と販売戦略について」というテーマで書いた。ここでは、ゲームをやるときに無音でやる人、まったく違う曲をかける人、普通にゲームのBGMでやる人などのバリエーションの検証もした。卒論と就職活動は同時進行だった。

●「ゲームの心」に届いた曲

スクウェアで手掛けた曲の中で、一番思い入れの強いものは何かとの問いに、谷岡さんは迷わず「ファイナルファンタジーXI」(以下、FFXIと略)の「Awakening」(アウエイクニング)を上げた。

FFXIは、ファイナルファンタジーシリーズ初のオンラインゲームで、いまでも続いているが、「Awakening」はその初代のラスボスラストボスとの戦いのシーンで流れる曲だ。ゲーム音楽の曲としては異例の共感が集まっている。

ラスボスは普通のゲームでは一回倒すと



●FINAL FANTASY XI - Music from the Other Side of Vana'diel (スクウェア・エニックス提供)

ゲームがそこで完結する。だから「一番力を入れないといけない曲なんだけど、一番聞いてもらえない不遇の曲」でもある。

しかし、オンラインゲームの場合は、次の章に移つても、同じ相手と何度でも戦うことができるため、繰り返し聞いてもらえる可能性がある。

「それで、皆さんの耳に残つたのではないかと谷岡さんは分析する。

しかし、それはある種の謙遜だ。実際のところは、曲そのものに「ゲームの心」を惹きつけるものがある。

「この曲は私が初めて本格的に手がけたボス曲『戦闘曲』なんです」と谷岡さんは言う。

どの曲もそうだが、特にボス曲は、ボス戦の状況を表している曲、ボスに向かっていく主人公の心情を表した曲、ボス自身の心情を表した曲、そうしたものはまったく関係なく流れとして作つてしまう曲、など色々なアプローチの仕方がありうる。その中で、「Awakening」は「ボスの『人となり』からアプローチしている。

「ボスの目線から見た情景にしてやろうと思つて書いたんです」

ボス戦なのに途中にもものすごく静かなシーンが入ったりする。それはこれまであまりなかったことで、起承転結がはっきりして

おもしろいという評価があつたり、ボスに感情移入するゲーム愛好家もいた。どこかの運動会で使われたという話も聞いた。

作曲時はキャラクターデザインも同時進行で、ボスはどういう姿なのかはまだ確定していなかった。

実は「曲を聴いてからボスの最終デザインができあがつた」のだと、ゲームのプランナーがあとになって話してくれたそう。

●変わる「ゲーム音楽」の世界

谷岡さんは、2009年末にスクウェア・エニックスを退職しフリーになった。フリーになった理由は、端的に言えば、「時代の変化に付いて行きたいと思つたから」。

谷岡さんが1998年からこれまでに作曲した曲はおよそ5000〜6000曲。平均して年間に35曲程度を作曲してきたことになる。実はそのうち190曲が、オンライン曲販売のサイト「Tune」に登録されている。

この実績にはフリーになって以降の曲も含まれるが、ほとんどはスクウェア・エニックス時代のものだ。

「大きな会社でクリエイターとしてやっていくことのメリットは、さまざまな経験を持ついろいろな職能のゲームクリエイターと話ができること」に尽きると谷岡さんは言う。そこでは「チームの中でのコミュニケーションを通じて、音楽の役割や求められること」を明確に理解することができるのである。しかし、谷岡さんの最近の関心は、ゲーム音楽以外にも広がってきた。

「ゲーム音楽を作ることほもちろん楽しいのですが、やってみたいことが、ゲーム音楽というカテゴリーから少しはみ出してきているんです」

やりたいのは「子供も大人も安らげる優しい音楽を作りたい」ということ。最近手がけたスマートフォン用のゲームアプリ「マユモリ」は、谷岡さんがやりたい方向とぴったりマッチしている。

「できればこういう仕事が増えてくれるとうれしいのですが(笑)」

「チョコボの不思議なダンジョン」よりもさらに優しく、激しい戦闘曲も入っていない。そんな音楽の可能性について、谷岡さんは言う。

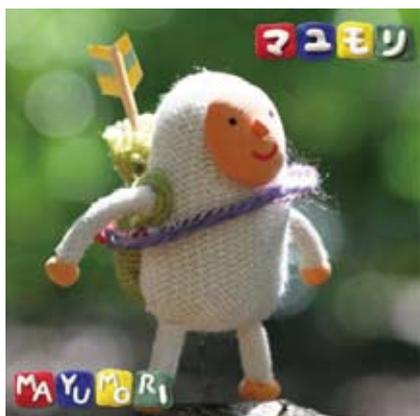
「いまはもうゲーム音楽、〇〇音楽という垣根がほとんどなくなつた状態だと思います」

だから「ゲーム音楽」にこだわる必要はないし、もっと普遍的で新しい音楽にチャレンジすることができる時代が始まつたのだと。

谷岡さん自身も新しいステージに飛び立とうとしている。

「これからはゲームだけではなく、映像や舞台、デジタルコンテンツ、イベント、そして演奏など、様々な形の音楽を追求していきたい」

そこから、優しい音楽を子供たちや大人たちの心に届けたらいいのだと言う。



●スマートフォンゲーム「マユモリ」から (スタジオリアル提供)

二人はみんなのために、みんなは一人のために「力を合わせよう。」

「神戸大学漕艇部」は1903年に創部されました。神戸高等商業学校設立の翌年のことです。したがって、漕艇部は昨2013年に創部110周年を迎えました。大原さんが神戸大学に入学したのは1955年。入学式の翌日、練習見学のあとのすきつ腹に素うどん一杯を奢ってもらって感動したことが漕艇部との60年近い縁の始まりでした。



●大原さんの現役時代のアルバム

●「エイト」は「レガッタの華」

「うどんは一杯15円でした」
大原さんは、練習見学のときご馳走になったうどんのことが忘れられず、その後毎年入ってくる新入部員にうどんを奢り続けている。

第二次世界大戦後の神戸大学漕艇部は、戦地から復員してきた学生たちが、京都大学に預けてあった8人漕ぎのボート「エイト」を引っ張り出して神崎川で練習を再開したことから始まった。

「ボートの保管場所は、製薬会社が川沿いの倉庫を提供してくれていた」と、大原さんは当時を懐かしむ。

手漕ぎボートの競技大会のことを「レガッタ」と呼ぶが、元タイタリア語で「ゴンドラ競漕」のことを意味したらしい。そこから今日ではボート競技やヨット競技など水上競漕全般を指す言葉となっている。

そのレガッタは、オリンピックの第一回アテネ大会（1896年）からずっと続いている競技として「オリンピックの華」と言われている。さらにレガッタの数ある種目の中でも、8人漕ぎの「エイト」は、「レガッタの華」でもある。

●「なんとしても8人集める」

ボートの競技種目は、一人で一本のオールを漕ぐ「スウィープ」と二本を両手で漕ぐ「スカル」に大別され、前者は8人、4人、2人で漕ぐ種目があり、後者は4人、2人、1人

で漕ぐ種目がある。スウィープには8人のチーム力を競う「エイト」があり、スカルには個人競技の「シングルスカル」があるのが特徴だ。

こうしたボート競技の種目分布は、なぜ「エイト」がレガッタの華なのかを自ずから物語っている。

それは、「みんなが一番力を入れる種目だから」なのである。

エイトの場合は少なくとも漕ぎ手が8人集まらなければチームが成立しない。したがって、漕艇部としては部の存続を左右する新入部員勧誘の目標がなにはさておき8人以上の部員確保による「エイト」の成立と競技出場になるのだ。

こうして、「エイト」の牽引力によって漕艇部のバックボーンが形成される。

「なんとしても8人集めるところからもう漕艇部としてのチーム作りが始まっている」のだと、大原さんは言う。

●ONE FOR ALL, ALL FOR ONE

8人集めたら終わりではない。そのあと本当のチーム作りが始まる。

「だれが突出した力を持つものが一人いたら競技に勝てる」というわけではないのだと大原さんは強調する。

「8人の力を合わせて一つの力にすること」が何より求められるのだ。「オアースマン（漕ぎ手）の心臓は8人も皆同じ音がする」とも言われる。

それを可能にするのは「練習」あるのみ。個人の力を強くする練習ももちろんあるが、それ以上に大事なのは、8人の力を合わせる

現役世代から

一人の可能性がみんなの可能性



主将 佐野孝太さん（経営学部4回生）

神戸大学漕艇部の現在の部員は男子30名、女子30名。昨2013年の関西選手権競漕大会（一般・学生エイト部門）で、戦後初めて京都大学に勝利し関西学生ナンパーワンになりました。しかし、今年は残念ながら6位に終わり、悔し涙を拭きました。いまはただ後輩の奮起を願っています。

漕艇部の案内パンフには毎年「一人の可能性がみんなの可能性だと気づいたときもう後には引けなかった」というフレーズが載っています。いつから続いているのか知りませんが、多分これが漕艇部の背骨となる精神なんだろうと思います。先輩方の心遣いに感謝しています。

練習。これを、朝も晩も、寝ても覚めても、繰り返し行うことで、チーム力を極限まで引き出すとする。

そして、この「練習」を可能にする場所こそ「クラブハウス」（艇庫と合宿所）なのだ。神戸大学漕艇部のクラブハウスは、大阪市東淀川区の淀川べりにある。大阪市の道路拡張計画が実施されるため敷地が狭くなり、クラブハウスの建替えが課題になっている。

「その資金の寄附を集めているが、もうちょっとで目標額に達しそうなので、皆さんの一層のご協力をお願いしたい」と、大原さんは力を込めて呼びかける。

「二人はみんなのために、みんなは一人のために」の精神を継承するためにもこの基金プロジェクトを成功させたいと言うのである。110年クラブの精神が脈々と息づいている。

大原八十八さん

（おおはら・やさはち）1959年経済学部卒業、三井物産入社。1988年三井物産関連事業部総括室長、1990年大同酸素（現エア・ウォーター）取締役。2005年川重防災工業（現エア・ウォーター防災）代表取締役社長に就任。2006年から取締役相談役、兵庫県ボート協会会長、関西ボート連盟副会長。

エア・ウォーター防災株式会社
取締役相談役



学生の就職活動支援、卒業生とのネットワーク構築・強化を2本柱に、首都圏でのプレゼンス向上を目指す。

学生の首都圏での就職活動や卒業生とのネットワーク構築拠点として、東京オフィスの役割がますます重要になっていきます。2011年のリニューアルを機に所長に就任した小西さんを中心として、就活支援と卒業生とのネットワーク構築・強化を大胆に推進。2014年春には更なる推進のため有楽町駅前へ移転・拡充。着実に成果が上がりが始まりました。



●質問に答えてくれた人：
小西 順
(こにし・じゅん) 東京オフィス所長／キャリアセンター東京分室長

1946年生まれ。1969年、神戸大学経済学部卒業後、伊藤忠商事に入社。化学品(合成樹脂)の営業部門に勤務。国内勤務に加え英国、アラブ首長国連邦にも駐在。その後、取引先の米国事業会社を経営。2009年に退職後、ベンチャー支援活動などを経て、2011年1月から東京オフィス所長に。

Q 東京オフィスの役割と機能は？

A 学内組織の中で企業との接点が最も取り易い組織、と言つ機能を活かし、

一番目は学生の就活支援、二番目は首都圏で働いている卒業生とのネットワーク構築・強化、三番目にこれらの活動を通じた首都圏での神戸大学のプレゼンスの向上です。さらに、商社にいた私の経験を生かし、神戸大学の国際化のお手伝いもします。それらを地道にやっていけば首都圏での神戸大学のプレゼンスの向上に繋がると考えています。

Q 東京オフィスの利用状況は？

A 年間利用者は延べ1700名ほどです。去年の内訳は、学生約900人、卒業生約500人、教職員約100人、一般の方約200人です。就活で首都圏に来た学生はかなり利用しています。移転を機に会議室も充実させましたので、卒業生や教職員の方にも、もっと使ってもらえればと考えています。

Q 東京オフィスにはどんな設備が？

A 東京オフィスの設備としては、最大18人入る会議室があります。就活生

は深夜バスで来ることも多いため更衣室を用意し、キャリア・アドバイザーが常駐している面談室もあります。就活のピーク時である2月から4月の間は、1日20人ほどが利用しています。

Q 卒業生とのネットワーク構築はどうですか？

A 神戸大卒の「人事担当者の集い」や「金融・経理担当者の集い」、「法曹・法務担当者の集い」など、現役で働く卒業生のために、交流会を立ち上げています。人事担当者の集いは首都圏で始めたのですが、関西ブロックも発足し、現在約2000人のメンバーがいます。金融・経理は約120人、法曹・法務が約80人です。ほかに業界ごとの集いがあって、志望する学生数が多いIT・ソフトウェア界など、これからさらに増やす予定です。



●東京オフィスではパソコンも使えて印刷もできる

Q この交流会を企画されたきっかけは？

A 発端は人事担当者の集いです。就活支援で学生と話していると、ネットを駆使した情報収集は得意ながら個々の会社の違いまではあまり理解していない様子



●東京オフィス玄関

です。やはり直接話を聞くことが一番なので、OB・OG訪問を受けてもらえるよう東京オフィスの利点を生かして3年半の間に約210社の人事部を回りました。もちろん、OB・OG訪問の手配は目前でやる必要がありますので、その第一歩が神戸大卒の「人事担当者の集い」です。

Q 交流会の現在の内容は？

A OB・OG訪問の受け皿がほしくて始めたのですが、いざ開いてみると同じクラブ出身だったとか、卒業生もすごく喜んでいて。学生、卒業生双方にメリットがあるならもっと広げようということで、今では8つのグループで延べ440社、600人ほどの規模になっています。結果として、卒業生にとっては人脈を広げるチャンスとして喜ばれているし、学生のOB・OG訪問も格段にやりやすくなりました。また、これらの交流会は大学の先生方にも参加頂くことで『学問と実践の出会いの場』にもなりつつあります。この様に、東京オフィスの一番目と二番目の仕事は両輪として機能するようになってきています。

ききん・だより

「基金の募金状況」

「神戸大学基金」の
取組みのご報告と
さらなるご支援のお願い

「神戸大学基金」の平成26年3月31日現在の募金状況はグラフのとおりです。多くの皆様方からご厚意が寄せられましたことに心より感謝申し上げます。

現在、本学は世界トップクラスの教育研究機関として確固たる地位を築くため、「神戸大学ビジョン2015」の実現に向けて日々邁進しております。今後とも皆様の暖かいご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

「基金の事業展開内容」

国際化への対応をはじめ、
多彩な活動を支援

神戸大学基金（基盤事業）の展開内容は、以下のとおりです。

① 明確な目標を持った優秀な学生の海外留学・研修への派遣支援として

海外派遣・語学研修・留学・海外インターンシップ・ボランティア・国際学会等派遣事業

② 海外に向けた発信への支援として

研究者向け英語個人指導・学部生向け英語プレゼンテーション指導等

③ 海外からの優秀な留学生・研究者の受入と
つづ

ダブルディグリープログラム等に参加する協

定大学から来学してくる海外留学生への支援

④ 神戸大学基金緊急奨学金制度の充実

・神戸大学基金緊急奨学金（災害や不慮の出来事による修学・生活困窮学生への支援）

・神戸大学基金奨学金（優秀かつ生活が困難している新一年次生への支援）

⑤ 課外活動（ボランティア活動を含む）支援

・東北ボランティアバスへの支援
・顕著な活動実績をあげた課外活動団体・個人への支援

⑥ 東京地区におけるプレゼンス向上活動支援

・首都圏における同窓生とのネットワークの構築・強化
・首都圏における情報発信業務・イベント等への支援業務

・在学生の首都圏における活動支援

⑦ 施設環境整備

・鶴甲第一キャンパスグラウンドの人工芝への推進
・登録有形文化財等の施設の充実

ご寄附いただく方法

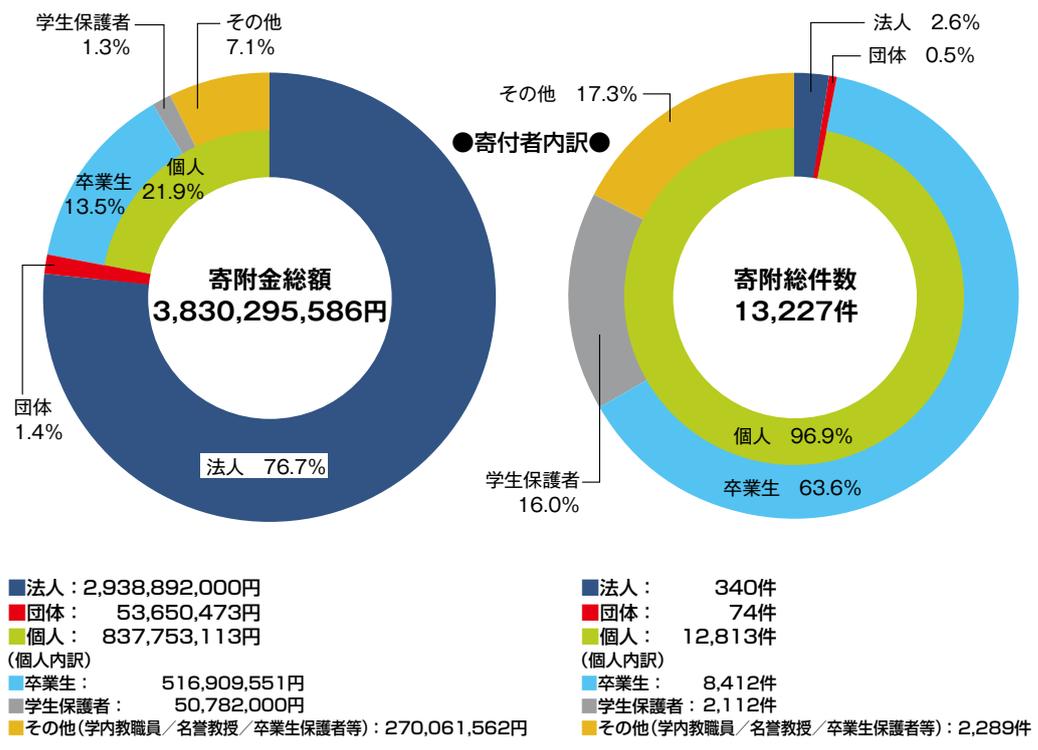
「個人のみなさま」

神戸大学へのご寄附に對しましては、寄附金額から2千円を除いた額について所得控除を受けることができます。また、平成23年1月1日以降のご寄附より、本学に寄附した翌年1月1日に神戸市にお住まいの方は、神戸市個人市民税の税額控除を受けられます。
ご寄附の申込方法は、本学指定の払込取扱票でのご寄附のほか、インターネットからご寄附いただくことが可能です。

本学指定の払込取扱票がお手元にない方は、お名前・住所・電話番号を左記の基金推進室までお知らせください。折り返し払込取

●図で見る神戸大学基金募金状況（2014(H26).3.31 現在）

寄附金総額：3,830,295,586円	【内訳】	
寄附総件数：13,227件	法人：2,938,892,000円	340件
	団体：53,650,473円	74件
	個人：837,753,113円	12,813件



投票一式をお送りします。
インターネットからのご寄附は、神戸大学
インターネットからクレジット決済、イ
ンターネットバンキング、銀行振込のい
れかをお選びいただくことが可能です。詳
しくは、左記のホームページでご確認くだ
さい。なお、クレジット決済をご利用
いただけるカードは、「JCB」「VISA」



http://
www.kobe-u.ac.jp/inf/kikin/kifu-personal.html

「MasterCard」 「AMEX」 「Diners Club」
じゅ。

遺贈によるご寄附を いただきました。

外国人留学生支援の 奨学金を創設

平成 25 年 10 月、故畑利春氏から遺贈によるご寄附をいただきました。

故人の遺志に基づき、「畑利春基金奨学金」を創設し、本学に在籍する外国人留学生の奨学のために活用させていただきます。

【相続手続代行をご紹介】

遺贈によるご寄附をお考えの方は、煩雑な相続手続を代行する金融機関（都市銀行、信託銀行）をご紹介しますので、神戸大学基金推進室（TEL：078-803-5414）にご相談ください。



●留学生オリエンテーション



●留学生フェア



●日本文化体験旅行（徳山）

写真で見る外国人留学生支援



http://
www.kobe-u.ac.jp/info/kikin/kiyu-enterprise.html

【法人のみさま】
所定の寄附申込書に必要事項をご記入の上、左記基金推進室まで郵送ください。折り返し、振込依頼書をお送りします。寄附申込書は、基金推進室に法人名・住所・電話番号をお知らせいただければ送付します。あるいは左記のサイトから書式をダウンロードすることもできます。



http://
www.kobe-u.ac.jp/info/kikin/top.html

お知らせ

【神戸大学基金ホームページ】
神戸大学基金について、詳しくは左記のホームページをご覧ください。
皆さまの、貴重なご意見、ご感想など、一言メッセージを神戸大学基金推進室にお寄せください。

【神戸大学基金推進室】
E-Mail:
Kikin@office.kobe-u.ac.jp



寄附者からの一言メッセージ

寄附をしていただいた皆さまから、次のようなメッセージが基金推進室に寄せられました。

「私はこんな理由で寄附しました」

● なにか志の高い人や意義深い事項に役立てていただければありがたいです。
● 少しでも後輩の手助けができれば、うれしい。
● 些少ですがお役に立てれば幸いです。大学の発展を祈ります。
● 拠出できる間、ささやかですが…。
● 主人が亡くなり、7ヶ月が経ちました。今後の御活躍を祈念し、益々の発展を願っています。
● 少しでもお役に立てたら。
● 4月から孫も大学院へ行きますので、嬉しくて。
● 卒業させていただき感謝。発展を祈る。
● 双子の孫が神大をベースに共々阪大院京大院を経て社会人になりました。ベースの神大に謝意をこめて。
● 息子が学ぶ環境が少しでも良くなればと思います。
● 少額ですがお役に立てばうれしく。
● 学生支援にご活用下さい。
● 良き後輩の育成の資となれば幸いです。
● 少額ですが、人工芝化のお役に立てば幸いです。
● 大学の発展を祈ります。
● わずかですが母校の発展のために。

発行のこぼ

神戸大学は、明治35年（1902年）の創立以来、開放的で国際性に富む固有の文化の下、「真摯・自由・協同」の精神を理念とし、社会に貢献する人間性豊かな指導的人材の育成と、普遍的価値を有する「知」の創造拠点としての世界的教育・研究機関たることを目指してきました。

● 今、20世紀都市文明からの転換が激しく迫られる中で、大学にはその創造力を発揮して新しい21世紀文明構築のさきがけとなることと求められています。「神戸大学ビジョン2015」は、その第一歩として、「世界トップクラスの教育・研究」「卓越した社会貢献・大学経営」の実現を目指しています。

● 「神戸大学基金」は、ビジョンの実現を加速するためのターボ装置です。ターボの力をより強力なものとするためには、神戸大学が社会により深く根を張り、そこからの支持と支援を拡大することが不可欠となっています。

● 本誌「神戸大学とわたし」Across the Boundariesは、神戸大学と社会の接点を取材し、「ビジョン」を先取りする取り組みを可視化することで、社会貢献の促進とビジョンの早期実現に資することを目的として発行されました。読者の皆様の忌憚のないご意見をお待ちしています。

● 2010年1月1日

※表紙題字下の「メタモルフオーゼ」は、生物学でいう「変態・変身」の意。本誌は神戸大学が21世紀に飛躍する様を追いかけています。

神戸大学とわたし

Across the Boundaries
通巻第11号 No.11
2014年7月28日発行

発行人 国立大学法人神戸大学
編集人 企画部社会連携課
〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1
TEL: 078-803-5414
FAX: 078-803-5024



E-Mail:
kikin@office.kobe-u.ac.jp

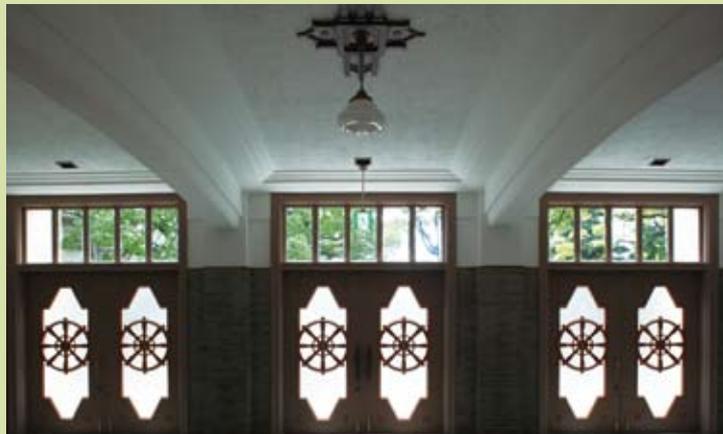
思い出の詰まった母校へ! **第9回** 2014年10月25日(土)
記念式典: 出光佐三記念六甲台講堂
神戸大学ホームカミングデー

【予定しているイベント】

記念式典、第11回留学生ホームカミングデー、学部企画、ホームカミングデー市、学生主催のイベントなど

卒業生のみなさま・名誉教授の先生方に、現役学生・教職員との交流を深めていただく機会として、
今年も「ホームカミングデー」を開催します。

ゼミ・クラブ・サークル同窓会の同時開催もお待ちしています。みなさまお誘い合わせの上、お越しください。



振り返れば六甲の山並 ~あの頃の友に会いたい

